



こんにちは

白子の議会

です

第133号

令和元年8月22日

編集発行
千葉県白子町議会
☎0475(33)2169



▲ 令和元年度議会行政視察(東京湾洋上研修及び豊洲市場研修)

第2回定例会

令和元年第2回定例会が6月12日に開催されました。
一般質問は、6名の議員が町政をただしました。

- 6議員が一般質問……………2～7ページ
- 補正予算等の質疑応答……………8ページ



町議会を傍聴しましょう。

次の定例会は9月10日～12日の予定です。

詳しいことは議会事務局へ。TEL 33-2169
白子の議会についてご意見、ご感想をお寄せ下さい。

一般質問 町政をきく

関係人口増加の取り組みについて

宗島 理仁 議員

議員 関係人口とは、住んでいなくても地域と多様にかかわる人々を指す言葉です。

定住人口でもなく、観光にきた交流人口でもない地域と多様にかかわる人々です。

地域によっては若者を中心に変化を生み出す人材が入り始めており、関係人口といわれる地域外の人材が地域づくりの担い手となることが期待されています。

このような中で、我が町においては、関係人口増加に向けてどのような施策を予定しているのか伺います。

ふるさとサポーター制度を創設

町長 白子町では、ふるさとサポーター制度を創設しました。
ゆかりのある方や、白

子町を応援したい人たちにふるさとサポーターになってもらう仕組みです。

具体的な特典、サービス内容については、地元の皆さんの協力を得ながら話を進めております。

ふるさと納税をしていただいた方をターゲットにし、関係人口を増やす取り組みを進めていきたいと思っています。



お試し居住体験について

議員 お試し居住体験を申し込みする際に、電話

での問い合わせが、平日 8 時半から 5 時 15 分までに限るとのこと、かなりの利用制限がかけられています。

移住についてさまざまな不安を持つ希望者や、移住後の悩みを持つ方々が必要ときに気軽に相談できるようにするためには、平日以外でも相談できる窓口や多様な相談内容に応じる体制等を整備する必要がありますかと思いますが、見解を伺います。

改善するよう努力する

町長 平日しか受けていない現状に対し、改善するように指示はしてあります。

また、PR 不足も否めず、徐々に体制を整えていきたいと思っています。

転出抑制について

議員 これまで積み上げてきた子育て支援、教育施設や住環境、自然環境

などの強みを町民にも PR することで、転出抑制につながるのではないかと思います。

また、10 月から実施予定の保育料無償化により、現在、続けている給食費の無料の対象範囲を拡大する等の新たな子育て支援策についての考えがあるのか、見解を伺います。

地元の強みを理解してもらうために

町長 地元のよさをもっと理解してもらう取り組みを行い、転出抑制につなげたいと思っています。

また、保育料無償化については、具体的な情報が入国から届いておらず、まだ試算等が出せていない現状です。



教育行政方針基本理念について

東海林 東治 議員

議員 白子町第5次総合計画「えがお元気づつと暮らしたい町白子」の自

立と思いやりの町づくりの趣旨に則り、平成31年度基本方針が示され、町の特色ある歴史や文化豊かな自然について学び地域の人材を活かした教育や体験活動を通じて、未来を考え、新しいまちづくりに貢献する人材を育むとありますが、その施策を伺います。

基本方針の施策

教育長 郷土愛と誇りを持ち、町の将来を担う人材の育成を掲げ、毎年教育行政運営基本方針を策定し、学習体験プランの充実を示しております。また地域の素材と外部人材を登用した教育活動カリキュラムの整備、ふるさと体験学習の充実を図っております。

学習向上の取り組みは

議員 少子化が進む中どうしても学力低下が進む傾向があります。学力向上の実現に向

けた授業改善や家庭学習の習慣性を図る取り組みの施策を伺います。



生徒の成長と

教員の質の向上

教育長 学力向上においては、白子町プレゼンテーション大会を毎年行い体験、観光振興等々を学習を通して発表しています。

平成21年度より、小小連携・小中連携で9年間の成長と教員の質の向

上を基に学力向上に努めております。

教育振興基本計画は

議員 社会の現状や変化を踏まえ、白子町大綱の未来を切り拓ける人材育成を掲げ、全ての子どもたちが、安心安全な教育環境づくりと人間尊重の精神を基盤とし、確かな学力を身に付け、豊かな情操と道徳性を備え、社会性のある人材を育むとありますが、その具体的施策を伺います。

たくましい人材

豊かな心、健やかな体

教育長 細部にわたりますと、道徳教育、人権教育、情操教育を通じた力強い生き方の指導と、福祉教育の充実、また、健康の維持管理等安全確保を期した指導を中心に行っております。

新学習指導要綱が、小学校は令和2年から、中学校は令和3年に完

全実施していきます。

国際目標の

質の高い教育は

議員 教育大綱に、グローバル化に対応出来る人材育成を目標に、世界に視野を広げ、国際感覚を身に付けた人材を育みますとあります。

本町の小中学校においても、各学校で国際教育の展開を期待する意味からも1校に1人を目標にA・L・Tの任用を検討し、英語教育の充実を図るべきと思います。

地方自治体は、その人数に応じて、国から普通交付金1人当たり5百万円の加算制度があります。これを活用して英語教育の充実を図るべきと思いますが、見解を伺います。

国際感覚の人材育成

教育長 基本方針の中で外国語指導助手のA・L・Tを1名採用しております。加えて英語の堪能な日本人1名、外国人1名の

3名体制で児童、生徒に生きた英語に接する機会を提供しております。

また、中学生海外交流研修事業で、毎年8名の生徒をオーストラリアに派遣し、国際感覚を修得できるよう実施しております。



外部専門家の導入は

議員 地方行政において、民間企業等で得た豊富な専門知識や実務経験を活かした観光事業の発展の為、観光分野の任期付き職員を公募し、企画立案業務に従事した人材登用の考えはあるか伺います。

観光プロモーション展開

町長 知名度アップを目標にPR活動をしております。

外部専門家は、ホテル等が研究しておりますので、行政としては、考えておりません。

新時代のまちづくりについて

大多和 正之 議員

議員 令和という新時代を向かえましたが、現在の 1 番の社会問題は人口減少問題で白子町では第 5 次総合計画で人口維持に向け様々な計画がありますが、現在の進捗状況と今後の考えを伺います。

大変重要な問題と受けとめています

町長 人口減少これは社会全体の問題で、日本は大きくクローズアップされています。第 5 次の総合計画でも重点施策として移住定住、転出抑制、子育て支援施策事業を推進しているがなかなか結果として出てないのが現状です。

教育環境について

議員 白子町では間もなく小中学校のエアコン設

置が完了し熱中症対策は大丈夫と思いますが、建築後 40 年以上が経過し老朽化が進む学校、保育園について今後の考えを伺います。

7 年先までは確保

町長 文部科学省の公立小中学校の適正規模、適正配置等に関する手引きでは望ましい学級数の考え方が、小学校で 1 学年 1 学級 6 学級が必要である。白子町では 7 年先まではその数が確保できています。

検討委員会の設置を

議員 学校再編を考えると住民説明、候補地選定、建設費用等の様々な問題があるので、2027 年までは 3 校維持になっていますが、今後の学校再編を議論

する検討委員会などを 1 日も早く設置する考えがあるか伺います。

再編問題は無関心ではない

町長 私も再編問題は無関心ではありませんが、この問題を出す地域が寂れていくというイメージがあり、当面は行わない考えです。

通学路の安全対策について

議員 白子中学校から南側の県道一宮片貝線は小学校・中学校の通学路になっていますが、交通量が多いのに小学校に向かう交差点に横断歩道が

無く大変危険で、横断歩道設置の要望も出ています。設置予定を伺います。



丁寧に要望していきます

町長 県道一宮片貝線は交通量が多い割りに県道の整備が遅れているのを私も実感しています。歩道設置となると時間、年数が掛るので、横断歩道の設置について丁寧に要望していきます。

高齢者ドライバーについて

議員 高齢者ドライバーの事故が連日報道されていますが、免許を自主返納した方にはタクシー券の割増しをする等返納を促進し、代替え手段として広域連携の巡回バスを走らせる等、考えがあるか伺います。

非常に難しい問題

町長 高齢者ドライバーの安全対策は非常に難しい問題で、免許の返納を進めると代替え手段の問題があります。研究が進

められている自動運転等に期待しています。

東京オリピックについて

議員 一宮町でサーフィン競技が開催されるので、白子町の子どもたちにも思い出に残るような大会になればと思います。考えを伺います。

近隣町村と一緒に

町長 地元で行われるので、子どもたちがオリンピック体験、サーフィン競技の観戦をできるよう、近隣町村と一緒に活動していきたいと思っています。



3月議会で提出依頼したものが 3か月経過するのに未提出とは何故か

石井 和芳 議員

議員 第5次総合計画で

の町の中心地づくりの計
画書の策定と観光中心地
づくりにおいて、拠点整
備構想の策定とありま
す。共に策定書が作成さ
れていることになってい
ます。

3月議会で資料として
提出してほしい旨の要望
を出しましたが、いまだ
未提出です。これはどう
してか伺います。

この計画書は策定 されていない

町長 両計画とも計画書
は策定されていません。

町づくりにおいても、
真の中心地を定めるとこ
ろまで至っていないもの
であります。また観光地
においても、むしろ中心
地が変わりつつあるよう
です。



計画はあっても何も 実行されない計画

議員 都市計画の変更
を含め、総合計画も優先
順位を定め、着実に実施
していかないと、自治体
間競争に間違いなく劣
後します。人口減少等
で総合力の差が大きくな
っています。早期の対
応を要望します。

遅れていた公会計 制度の導入も6月 7日付で完了した

議員 2周遅れでやつ
と導入した公会計制度
を活用して、資産負債管
理、予算編成、行政評価

等に活用いただき、マ
ネジメント強化、財政
の効率化、適正化に活
用してください。

今回出されたものは28
年度分です。29年度分は
いつになるか伺います。

早急に対応

町長 29年度分、30
年度分もなるべく早い段階
で公表したいと思います。

人口減少の歯止め 策は

議員

第5次総合計画
では、2027年の白
子町人口の推計として
1万8百人としていま
す。しかし社人研（国立
人口問題研究所）の推計
より1千人以上多く予
想しています。過去8
年の減少人口（1千3百
人）を2027年に推
計してみると、1万人
を切り9千9百67人に
なります。

早期に抜本対策をし
ないと、明るい農村ど
ころか、限界集落の集
合体になりかねません。

人口減少対策をするつも
りがあるか伺います。

人総研の推計から 乖離があるが、

目標は目標として

やっていきたい

町長 今までは転入者の

流入に力を注いでしまし
たが、今後は転出抑制に
注力したいと思います。

人口増加対策は まず魅力的な

町づくりから

議員

今から20年前は白
子町も活気があり、近隣
市町村から羨ましがられ
ていました。テニス民宿
は活況を呈し、アクアセ
ンターもかなりの入込が
あり、これを目当てに移
住してきた人たちも大勢
いました。

過去20年間これといっ
た公共施設の充実もな
く、近隣市町村から遅れ
を取るようになってしま
した。

先般日本経済新聞の

記事に2045年の白
子町の人口予測では、
5千8百人となっていま
した。しかし一宮町、長
生村は1万人を維持する
となっていました。交通
インフラや地理的条件だ
けでなく、行政としての
基本施策等の違いによっ
てこのような大きな差が
できるものと思います
が見解を伺います。

職場の提供や企業 誘致は今からでは 難しい

町長 農地の線引きや

企業誘致をしても来るか
どうか疑問である。それ
より新治の工業団地の就
業者を白子町に住ませ
たほうが良いのではない
か。一方、住む家とか賃
貸住宅等については備え
てやらなければいけない
と思っています。

議員 要望として、企業
誘致をして職場を確保
し、コンパクトシテー
的な住環境を確保しな
いと人口減は止まらな
いと思います。

外出支援サービス現状と 今後の見通しは

市川 隆子 議員

議員 町では外出支援サービスを他市町村に先駆けて実施しました。

高齢者で独居や2人世帯も増えており、年齢とともに通院が増えて来ます。こうした方々が安心して利用できるようにサービスを継続することが求められていますが、現状と今後の見通しについて伺います。

利用者増えれば 増便考える

健康福祉課長 現在は1日1台で2回運行しています。

今後利用者が増えるようなら、日数等も考えていかなければならないと思っています。

福祉タクシーの現状 と今後の見通しは

議員 福祉タクシーは自分で移動できる方は便利に利用しているようですが、タクシー代が高くて大変という声もあります。

郡市で比較すると、対象者や助成額、券の発行枚数等の差がありますが、現状と今後の見通しについて伺います。

堅実に確実に運営 する

町長 昨年実績で7百51人の登録があり、予約が重複することもあります。順調な運営を行っています。

今後も継続は考えていますが、利用者が増えていくと思われそうです。堅実に確実に運営していきたいと思っています。

公共交通を広域で 実施を

議員 高齢運転者に原因のある交通事故は増加傾向で推移していると言われています。

現在、郡市内では巡回バス等を運行している自治体はありますが、他の市町村にはないため、使い勝手が悪くなっています。

長生郡市内には、広域市町村圏組合がありますので、七市町村で協力して住民の足を確保することも考えなければならぬと思います。

知恵を出し合い、交通事業者の協力も得ながら、積極的に進めていかなければならないと思います。見解を伺います。

調査し、話題提供 してみたい

町長 茂原市が音頭を取ってくれなければ、前に進まないと思います。

近年規制緩和されていますので、調査したなかで話題提供はしてみたいと思っています。

子ども均等割減免の 考えは

議員 国保は、低所得世帯には一定の減額がありますが、子どもが多いほど高くなります。

全国知事会などの団体も、子どもにかかわる均等割や保険料の軽減を求めています。

地方団体も求めている子どもの均等割減免について、今後どのように考えていくのか伺います。

考えていない

町長 子どもの均等割減免は、現在のところ考えていません。

昨年度から広域化になり、今後、国も責任を持って医療保険制度全体のなかで、公平に考えていくべきだと思います。

総合事業の現状は

議員 今後は、65歳以上の高齢者の独居率が急増すると推計されています。

町でも総合事業が始まっていますが、現状について伺います。

対応はしている

町長 地域包括支援センターで介護予防マネジメントを作成しなければ使えないなど、セクターに負担がかかるという課題はありますが、きちんと対応はしていますし、今後も考えていきたいと思っています。



災害時用の公衆電話の 取り組みについて

板倉 正道 議員

議員 東日本大震災から 8 年が経過し、白子町でもあらゆる防災対策が構築されて来ました。

波乗り道路の改修、南白亀川堤防のかさ上げ、牛込地区の緊急避難所の完成等おむね完了して来ました。

しかし、8 年前の東日本大震災において、被災地から遠く離れた白子町で通信機能の不能な状態が続きました。

いざ災害が発生した時に、災害時における通信手段整備は必要と思いますが、設置を進める考えがあるか伺います。

2つのルートで 通信回線の整備を

町長 災害時における通信手段として、災害対策本部を設置した場合、関係機関との連絡は地上系

と衛星系の 2 つのルートで通信回線を整備してあり、町の災害対策本部から避難所各小中学校との連絡手段については、町独自のデジタルの簡易無線機を整備し、訓練を実施しております。

避難者の家族、 知人の連絡手段 として理解を

議員 災害時用の事前配備の公衆電話（特設公衆電話）は、災害時に優先して緊急連絡手段として提供ができ、無料で使用可能で停電時も利用可能ということで、総務省でも進めておりますので、白子町でも設置を進めていただきたい。
郡市内では、茂原市・長生村・睦沢町で設置済です。

緊急避難所の設置 について

議員 南白亀地区に建設した緊急避難所に続き、さらなる地域住民の安全を確保するため、白濁地区にも同様の整備を検討し、事前準備として建設地の検討設計業務を進めているとのことですが、同様の設備か、避難タワー等も考慮し検討するのか伺います。

用地の確保が必要

町長 緊急避難所ですが、南白亀地区の後、白濁地区ですが、古所・五井・八斗地区を対象に考えております。
進めるには用地の確保が必要ですので、地権者の協力を得て進めていきます。

避難タワーの考え はあるのか

議員 大網白里市四天木の避難タワーですが、

建設面積が少ないので有効と思いますが、見解を伺います。

地元住民と相談して 決める

町長 牛込・浜宿地区の避難施設は、地権者の協力で安価で土地を提供してくれました。盛土ももらえたので、安価で建設できました。

タワーの場合、相応の基礎工事がかかります。対応については、今後協議して進めます。

議員 牛込地区の緊急避難所に概要看板及び標識案内の設置を要望します。



補正予算等に 対する質疑応答

白子町国民健康保険条例の一部を改正する条例の専決処分事項の承認を求めることについて
承認第 2 号

【市川隆子 議員】

議員 国保の基礎分の限度額引き上げにより、対象となる世帯数と税額としての影響額は。

また、軽減の対象世帯の増と影響額について伺います。

税務課長 課税限度額は基礎分が 26 世帯から 22 世帯に減少し、影響額は約 75 万円増える予定です。

軽減は、5 割軽減が現行 579 人から 586 人に増え、影響額は 19 万 2 千円。

2 割軽減が 498 人から 529 人に増え、影響額は 23 万 7 千 4 百円という試算となっております。

令和元年度白子町一般会
計第 1 回歳入歳出補正予
算について

議案第 2 号

【市川隆子 議員】

議員 プレミアム商品
券の発行枚数と購入対
象者について伺います。

健康福祉課長 対象者
は住民税非課税世帯の
方となります。

また、児童も対象と
なり、平成 28 年 4 月 2
日から令和元年 9 月 30
日までに生まれた児童
が対象になります。

商工観光課長 枚数は
500 円の 10 枚セット 5 千
円分を 1 人 5 セットま
で購入できます。

非課税者が 2 千 350 人
3 歳以下の子どものい
る家庭 150 人、合計 2 千 500
人分を想定しています。



【宗島理仁 議員】

議員 保育料無償化に
伴うシステム改修につ
いて、国から、今回無
償化となる対象施設事
業の中に、ファミリー
サポートセンター事業
が対象となっています。

茂原市は、今年度か
らファミリーサポート
センター事業が開始さ
れました。

白子町でも実施すべ
きかと思いますが、現
在策定中である子ども・
子育て支援計画ではど
のような話し合いが行
われているのか伺いま
す。

住民課長 子ども・子
育て会議等を経て、計
画に盛り込むか検討し
ていきたいと考えてお
ります。

※その他は、広報しら
こ 7 月号をご覧ください。

永年在職議員表彰

自治功労者

(議員在職十一年以上)

第 2 回定例会におい
て、議員に対し表彰状
の伝達が行われました。

この表彰は、千葉県町
村議会議長会より、永年
にわたり地域振興と地方
自治の進展に尽力された
功績により表彰されるも
のです。

本町から 1 名の議員が
表彰されました。心から
お祝い申し上げます。



酒 井 良 信 副議長

編集後記

6 月下旬から記録的な
大雨となっている九州地
方。各地域では「警戒レ
ベル 4」という避難指示
が出た。

昨年の西日本豪雨を受
け、国や自治体が発表する
気象や避難の情報を、5
段階の「警戒レベル」で
知らせる新しい仕組みが
6 月から始まり、逃げる
タイミングが一目で分か
るよう、レベル 3 は「高
齢者らの避難」、レベル 4
は「全員避難」がそれぞ
れ必要と定めた。しかし
ながら、周知不足もあり、
運用面で課題を残したと
思われる。

気候変動などの影響で、
日本はこれまでの常識を
超えた自然災害の時代を
迎えている。

わが町においては、白
子町温泉ホテル協同組合
と「安全・安心・快適避
難協定」を締結し、風水
害などの災害が発生する
恐れがある場合、組合員
の所有するホテル等への
自主避難が可能となった。

「自分の命は自分が守
る」という意識が大前提
ではあるが、議会として
も地域が一体となって災
害に備えるための体制づ
くり、常に緊迫感を持つ
て取り組みたい。

宗島理仁